

# 株式会社精工技研

2004年3月期 決算説明会

2004年 5月24日

- . 2004年3月期 連結決算概要
- . 2005年3月期 連結業績見通し
- . 今後の事業戦略

# . 2004年3月期 連結決算概要

# 2004年3月期 連結決算ハイライト

(百万円、%)

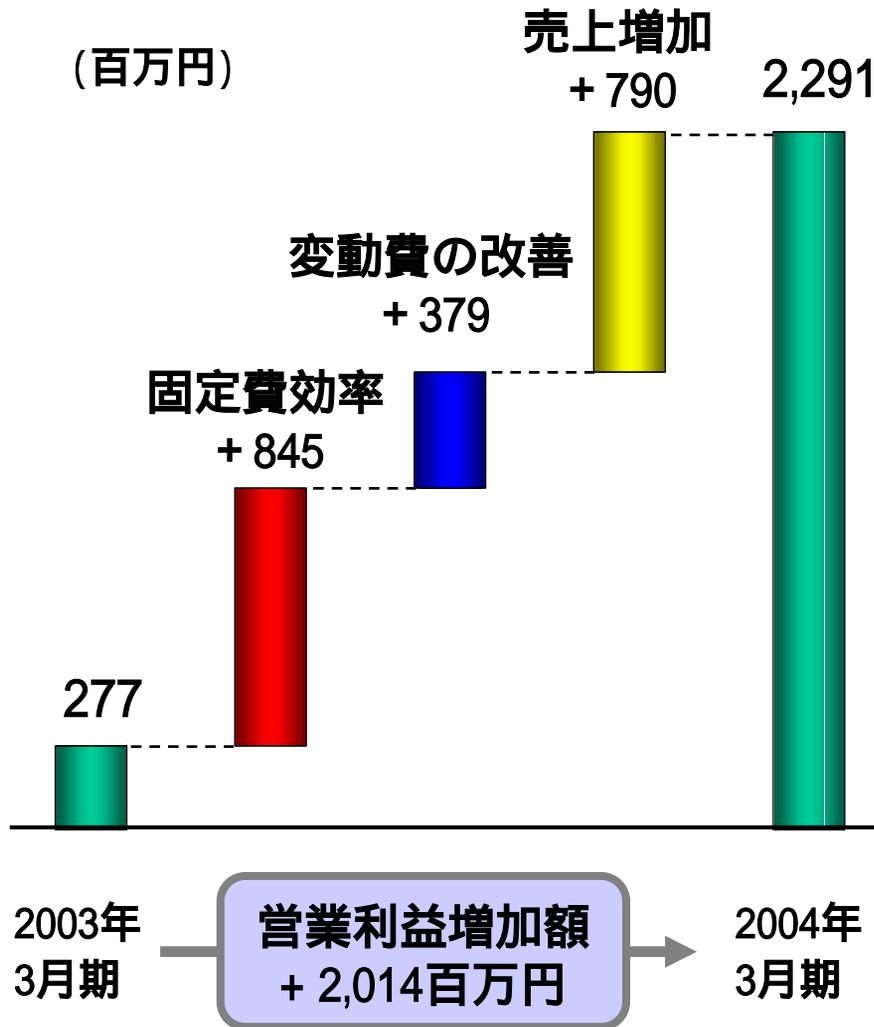
	2004年 3月期	2003年 3月期	前期比	業績予想値 (1月29日発表)
売上高	6,918	4,262	162.3	6,425
精機部門	5,966	3,300	180.8	5,530
光製品部門	951	962	98.9	894
営業利益	2,291	277	825.8	1,967
経常利益	2,168	197	1096.2	1,836
当期純利益	1,391	1,186		1,271

# 2004年3月期 連結決算ハイライト

(百万円、%)

	2004年 3月期	2003年 3月期	前期比
受注高	7,048	4,727	149.1
受注残	1,454	1,325	109.8
設備投資	547	105	521.0
減価償却費	479	542	88.4
技術研究開発費	381	366	104.1

# 営業利益増加要因分析



精機事業の売上高増加  
 固定費効率の改善  
 合理化努力による変動費の削減

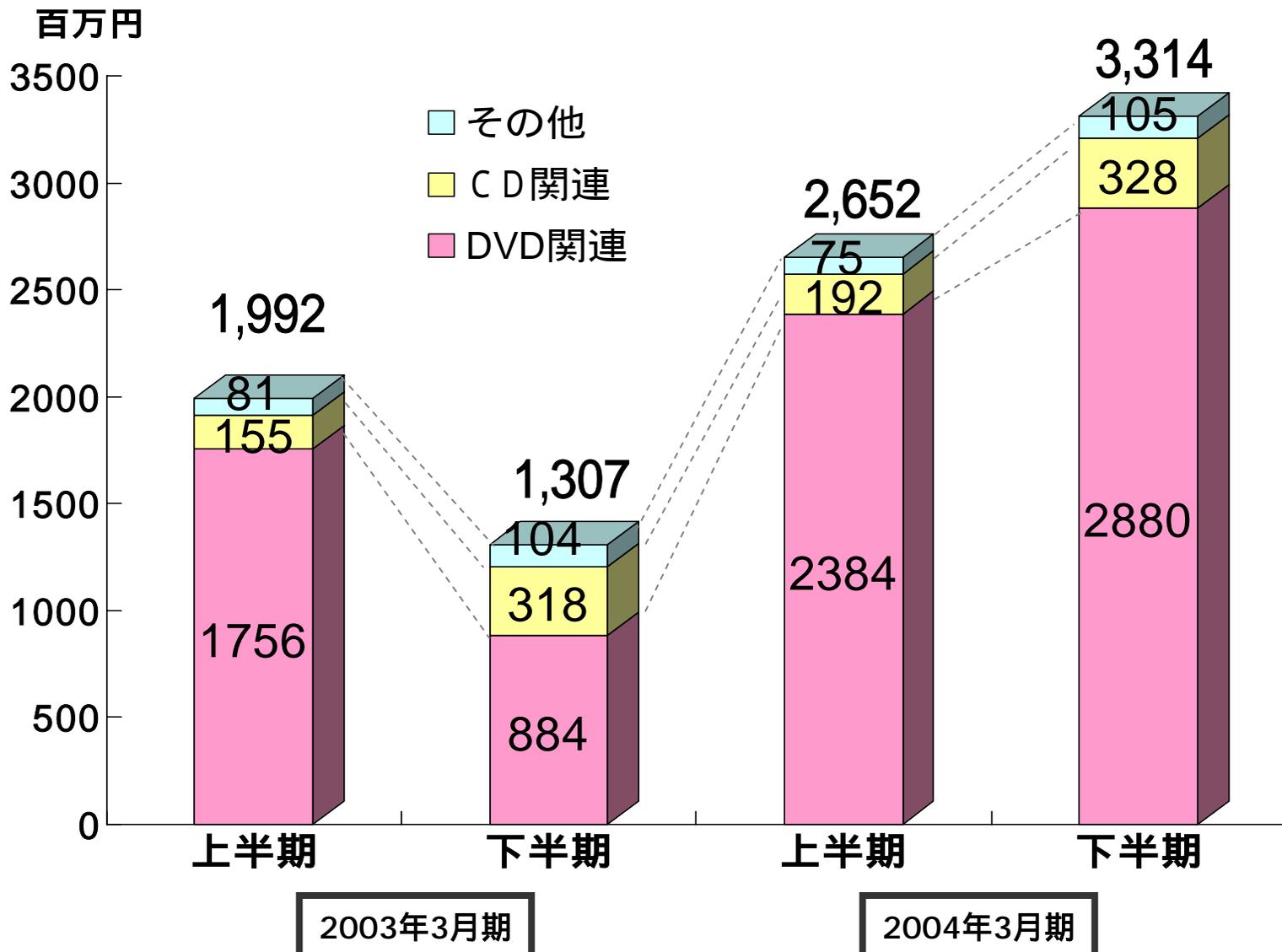
## セグメント / 精機部門

	2004年3月期	2003年3月期	前期比	(百万円、%) 増 減
売上高	5,966	3,300	180.8	+ 2,666
営業費用	3,301	2,329	141.7	+ 972
営業利益	2,665	970	274.5	+ 1,695
営業利益率	44.7	29.4		+ 15.3

記録用DVD金型に対する需要の急増

製造コストの削減が利益率向上に寄与

## 製品売上推移 / 精機部門



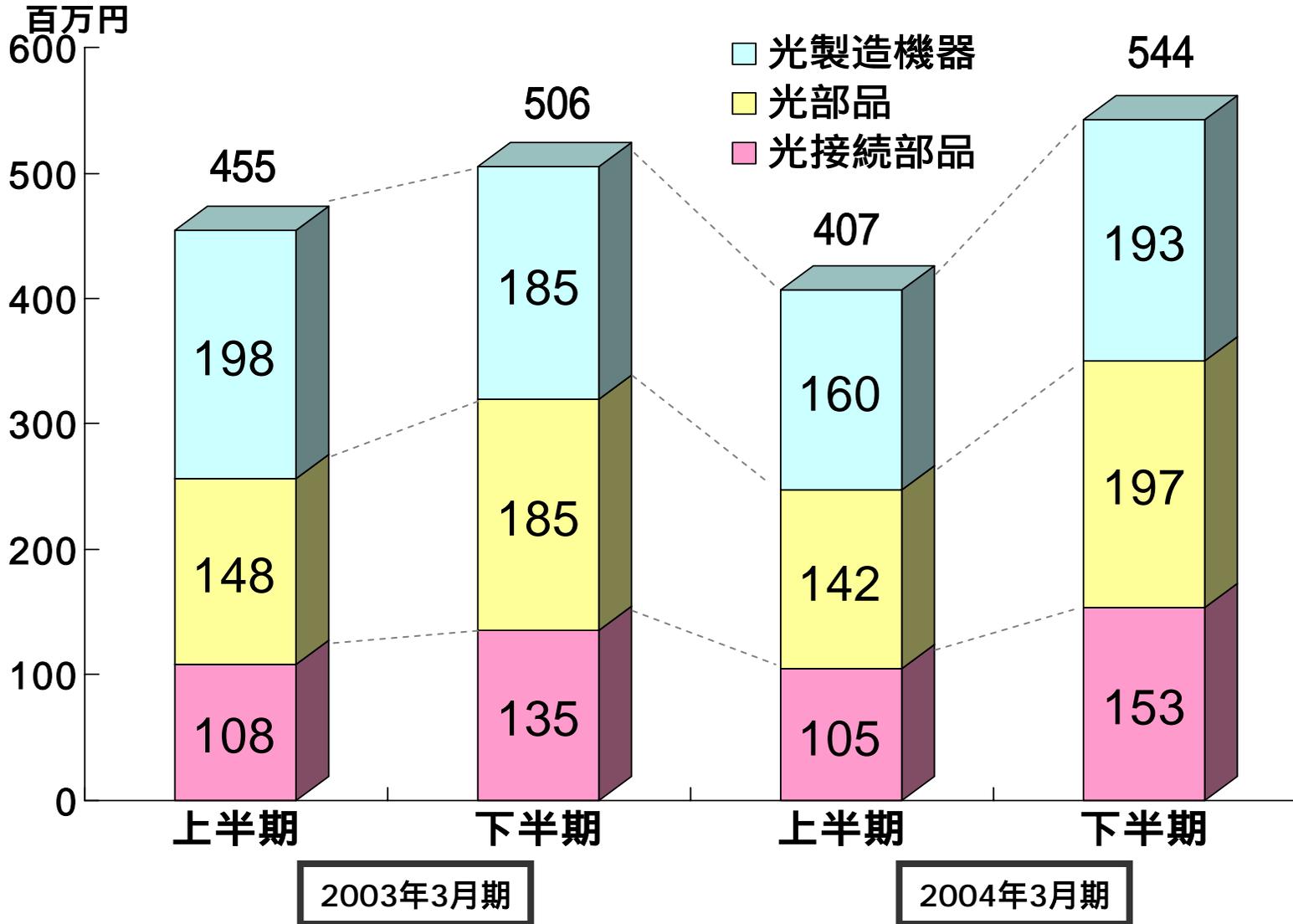
## セグメント / 光製品部門

	2004年3月期	2003年3月期	前期比	(百万円、%) 増 減
売上高	951	962	98.9	11
営業費用	1,325	1,655	80.1	330
営業利益	374	693	-	+ 319
営業利益率	39.3	72.1		+ 32.8

ロングホール系市場は低迷し、メトロ・アクセス系市場がやや活況

中国工場への生産移管や、製造員の配置シフト等により営業利益は改善

# 製品別売上推移 / 光製品部門



# 2004年3月期 連結貸借対照表

	(百万円)		
科 目	2004年 3月期	2003年 3月期	増 減
<b>&lt; 資産の部 &gt;</b>			
流動資産	15,809	13,964	+ 1,845
固定資産	9,329	8,516	+ 813
資産合計	25,138	22,480	+ 2,658
<b>&lt; 負債及び資本の部 &gt;</b>			
流動負債	1,614	558	+ 1,056
固定負債	522	315	+ 207
資本の部	22,946	21,539	+ 1,407
負債・資本合計	25,138	22,480	+ 2,658

# 2004年3月期 キャッシュフロー計算書

(百万円)

項目	2004年 3月期	2003年 3月期
営業 C F	122	1,695
投資 C F	1,167	1,067
財務 C F	177	343
現金増加額	1,253	243
期首残高	12,156	11,913
期末残高	10,902	12,156

# . 2005年3月期 連結業績見通し

# 2005年3月期 通期連結業績予想

(百万円)	上半期	下半期	05/3月期 予想	04/3月期 実績
売上高	3,250	2,800	6,050	6,918
営業利益	1,050	550	1,600	2,291
経常利益	1,050	550	1,600	2,168
当期純利益	600	300	900	1,391
設備投資			503	547
減価償却費			544	479
研究開発費			369	381

# 2005年3月期 連結業績予想（セグメント）

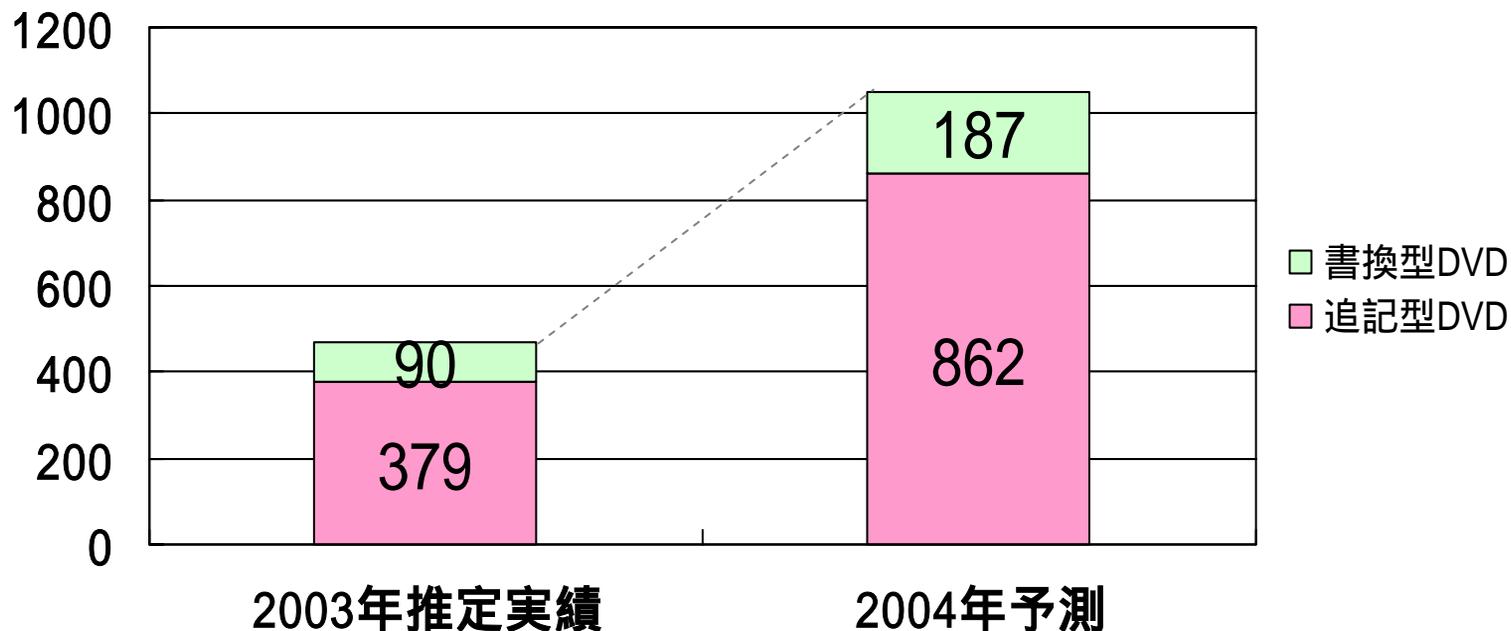
	精機部門		光製品部門		(百万円)
	上期予想	下期予想	上期予想	下期予想	通期予想
売上高	2,700	2,000	550	800	6,050
営業費用	1,570	1,390	630	860	4,450
営業利益	1,130	610	80	60	1,600

# ・ 今後の事業戦略

## 精機部門需要動向

- 2004年の記録型DVDの世界市場規模は倍増
- 金型需要は上期前年並み、設備一巡により下期減少を見込む
- 金型に対する高機能化への要求

(百万枚)



記録型DVDの世界生産 (資料: 日本記録メディア工業会)

# 精機部門事業戦略

---

---

## 1) メンテナンス事業の強化

- 海外販売拠点の営業強化と海外拠点支援体制の充実

## 2) コスト低減

- 部材・部品のグローバルな調達
- 工数低減の促進

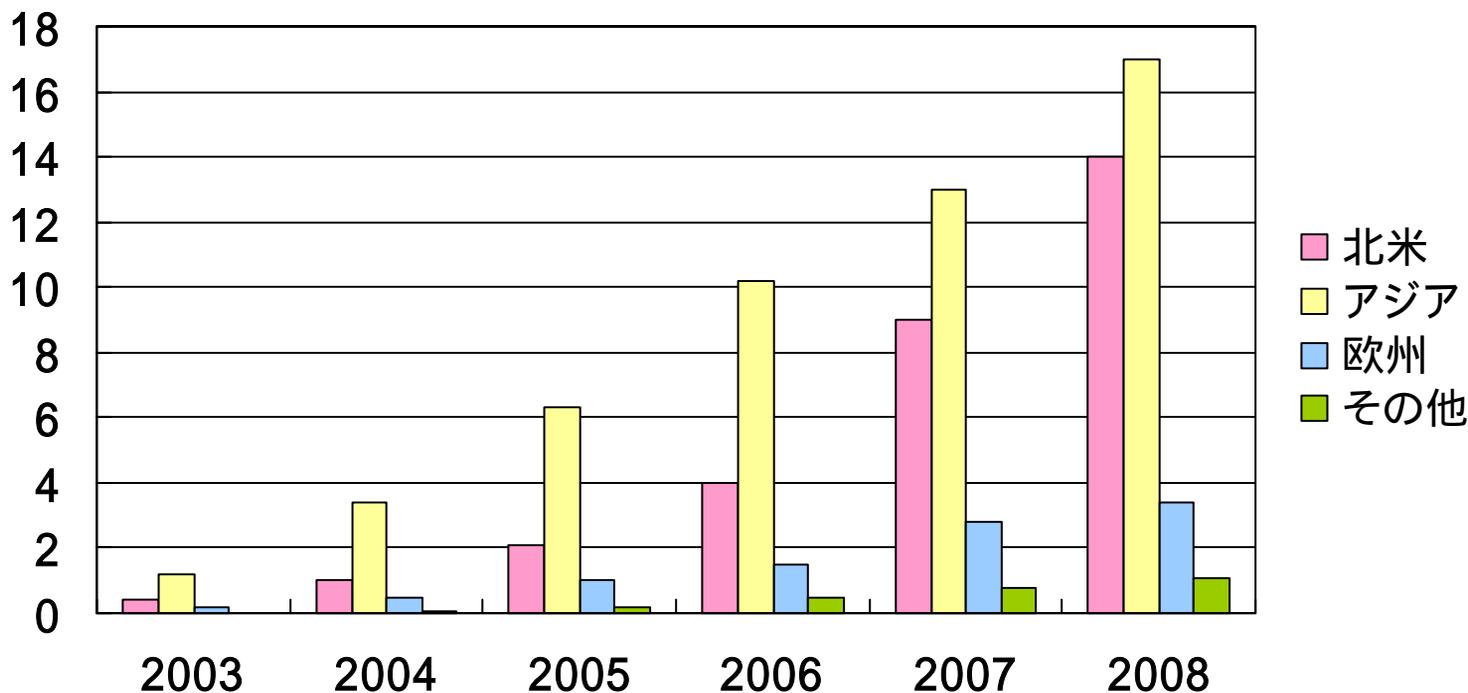
## 3) 新規金型の技術的対応

- 高機能化(専用金型、ハイサイクル等)への取り組み
- 次世代光ディスク(Blu-ray、HD-DVD等)への取り組み

# 光製品部門需要動向

長距離・幹線系ネットワークに対する設備投資は停滞中  
メトロ・アクセスネットワークに対する設備投資は増加傾向

(百万件)



FTTH・FTTP加入件数予測 (資料: ELECTRONICAST/2004年4月)

# 光製品部門事業戦略

## 損益の改善

### 1) 販売戦略

- 戦略商品と販売先の絞り込み
- キャリアへの営業展開強化

### 2) 技術開発

- メトロアクセスに向けた新製品開発体制強化(光製品開発グループ)

### 3) 製造コスト低減

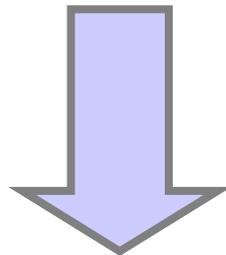
- 中国拠点への生産移管の推進

## 新規事業領域の開拓

---

---

当社のコア技術(精密加工・精密研磨)の応用  
他企業・大学・研究機関等との連携



今後成長が期待される事業領域への進出

# 株式会社精工技研

2004年3月期 決算説明会